JR名古屋駅 広小路口 旅客トイレ

TOTO

ファサード

名古屋駅構内広小路口のレストランゾーンが名古屋めしなどさまざまな店舗を取り揃え「名古屋うまいもん通り　広小路口」にリニューアルされた。

トイレ入口

エントランスの色調は周囲のレストランゾーンと統一。前面通路に、誘導ブロック、音声案内、触知案内図を設置。誰にでもわかりやすく、使いやすい入口とした。

男性トイレ 大便器・小便器コーナー

男性・女性トイレともに、洋式便器取り替えにあわせてウォシュレットを導入。小便器の壁面、足元には、防臭・防汚効果のあるハイドロテクト・ウォール、ハイドロテクト・フロアを採用。

多機能トイレ

使いやすさと同時に空間の美しさと快適さを追求した、RESTROOM　ITEM 01 フラットカウンター多機能トイレパックを採用。異性介助にも配慮して、カーテンによる仕切りを設けた。

女性トイレ 洗面コーナー

窓からの外光を取り入れ、上品な清潔感にあふれる白を基調とした明るい空間へリニューアル。洗面は手洗い後の床への水垂れを抑えるため、洗面器の間にクリーンドライを設置。

女性トイレ パウダーコーナー

個別鏡は顔に影がでにくいハイクオリティ化粧鏡を採用。大便器ブースの順番待ちで並ぶ際にも身だしなみができるよう、壁面に丸い鏡をランダムに設置。空間のアクセントともなっている。

改修前

2004（平成16）年の全面改修時、全洋式化、多機能トイレの整備を実施していたが、利用頻度が高く、経年の設備老朽化が課題となっていた。

トイレ図面

女性トイレ 大便器ブース

男性、女性トイレともに一番奥のブースを広くとり、着替えができるフィッティングボード・ベビーチェア・おむつ替えシートなど、お子様連れに配慮した設備を充実させた。

男性トイレ 洗面コーナー

通勤や出張、観光とさまざまな利用者が訪れる名古屋駅の特性から、手荷物配慮としてライニングを深くとり、洗面器の間に棚を設けた。

建築概要

名　　称	JR名古屋駅 広小路口 旅客トイレ
所 在 地	名古屋市中村区名駅
施　　主	東海旅客鉄道株式会社
設　　計	東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部 工務部 建築課 ジェイアール東海コンサルタンツ株式会社
施　　工	ジェイアール東海建設株式会社
竣工年月	（改修）2017年12月

水まわりの特長

＜改修の経緯＞

中部地方最大のターミナル駅であるJR名古屋駅の広小路口トイレは、主に鉄道とレストランゾーン利用のお客様に使用されている。既存トイレは、すでに2004（平成16）年に、和式便器から洋式化への全面改修が行われていたが、名古屋駅の玄関口という事もあり、利用頻度が高く、設備の老朽化も課題となっていた。このたび隣接するレストランゾーンのリニューアル計画が決定されたことに伴い、老朽取り替えおよび利便性向上を目的としたトイレリニューアルを実施した。

＜トイレの特長＞

既存トイレの利用状況調査から、「多機能トイレにおけるお子様連れ設備の利用待ち」「女性トイレにおける化粧直しのための手洗い利用待ち」という現況を確認。まず機能分散により、多機能トイレ利用待ちの解消を図るために、男性、女性トイレにお子様連れ配慮を施し、簡易型多機能トイレを整備。さらに女性トイレでは、パウダーコーナーの整備により、混雑解消を図った。
既存スペースに、現状と同数の器具を確保したうえで、さらなる機能向上を図るため、TOTOテクニカルセンターで空間検証し、納まりを検討。また、洋式便器取り替えにあわせてウォシュレットを導入。改修後は利用者から「明るくなった」「きれいになった」と好評の声が届いている。

2018.07 作成　無断複製・転載禁止　（C）　TOTO.　LTD.　2018　All　Rights　Reserved　25187